

新しい広場に私たちの声を活かそう！

# 駅前景観フォーラム

開催にあたって

新しい姫路駅北駅前広場の完成を4年後にひかえ、姫路市が駅前広場の整備後イメージ(裏面の絵)を公表するなど、その将来像がぼんやりと見えてきました。

その駅前広場に隣接するビルや歩行者施設などは、姫路市や民間企業が建設することになっていますが、一部を除いてまだ外観は決まっていません(姫路市が公表したイメージでも真っ白いお豆腐のようです)。

駅前広場のデザインコンセプト(共通のイメージ)については、「城を望み、時を感じ、人が交流するおもてなし広場」とすることで、関係者で合意が得られたということになっています。ただ駅前広場という公共空間に隣接する建物の外観も公共性をもつと考えると、市民もそれぞれの建築物のより良いデザインや広場全体で統一感のある景観に関心を持ち、提案することが大切ではないでしょうか。

このフォーラムでは、私たち市民が景観デザインの専門家からいろいろな解説をうけて、親しみを感じ誇りをもてる駅前の景観イメージを言葉と絵で表現し、市民のアイディアとして各建築主に提案/協力することを目的としています。

さあ、ともにこのまちの顔を描いていきましょう！

特定非営利活動法人 スローソサエティ協会  
理事長 米谷 啓和



参加専門家  
プロフィール



## ■小林正美 (景観デザイン) 明治大学教授 工学博士

1954年 東京生まれ 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了後  
1979年～丹下健三・都市建築設計研究所  
1988年 ハーバード大学大学院デザイン学部修士課程修了  
1989年～アルキメディア設計研究所主宰  
東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了後、専任講師、助教授を経て  
2003年～明治大学理工学部建築学科教授  
2002年～ハーバード大学客員教授  
2007年 日本建築学会学会賞建築業績部門受賞  
2009年 土木学会デザイン賞最優秀賞受賞



## ■小野寺康 (景観デザイン) 一級建築士 技術士/建設部門

1962年 北海道生まれ。1985年東京工業大学工学部社会工学科卒業  
1987年 同大学院社会工学専攻修了  
1987～93年 アプル総合計画事務所勤務を経て  
1993年 小野寺康都市設計事務所を設立  
東京工業大学 早稲田大学非常勤講師。  
文京区景観アドバイザー、ゆふいん湯の坪街道景観アドバイザー

主な受賞に

2001年 土木学会デザイン賞最優秀賞  
2004年 土木学会デザイン賞優秀賞  
2008年 グッドデザイン特別賞・日本商工会議所会頭賞  
著書に 「グラウンドスケープ宣言」(丸善 共著、2004年) など

